

せんごく えほん
戦国絵巻
じゅんがのしほ
敦賀之章

長政

勝家

家康

信長の妹であり、数奇な運命をたどる
浅井三姉妹の母

お市 いち

その運命の岐路に敦賀があつた

敦賀・戦国ときめぐり

信長

秀吉

大谷吉継

盟友石田三成との義に生き
関ヶ原に散った敦賀城主

おおたによしつぐ

過酷な運命を受け入れ

時代に翻弄されながらも定めある時を

懸命に生きた2つの物語

姫君たちが権力と政略渦巻く中で

息を潜めながらも

守ろうとしたものとは…

ものふたちが

血で血を洗う戦乱の中で

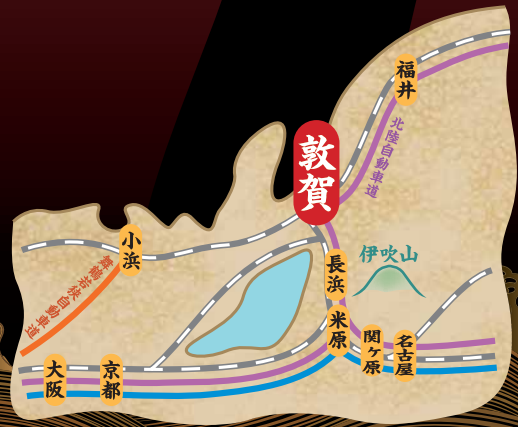
命を賭して守ろうとしたものとは…

敦賀に刻まれた歴史の証を訪ね

遙か戦国の世から聞こえる

声なき声に耳を傾けてみる旅

敦賀・戦国ときめぐり



〈敦賀へのアクセス〉

- ・JR 東京から約3時間
大阪から約1時間20分
名古屋から約1時間30分
岡山から約2時間30分
金沢から約1時間25分
- ・車 東京から約5時間30分
大阪から約2時間
名古屋から約1時間30分
岡山から約4時間45分
金沢から約1時間35分

市内観光は便利な「ぐるっと敦賀周遊バス」の利用をお勧めします。

- ・1日フリー券 大人500円 小児(小学生以下)250円
- ・1乗車 大人200円 小児(小学生以下)100円
未就学児は1人まで無料(2人目から有料)

発着場所・時間など詳しくは、敦賀市ホームページをご覧ください。
検索は『敦賀市 ぐるっと敦賀』でOK

敦賀と浅井三姉妹

■数奇な運命の序曲と
なった金ヶ崎の戦い

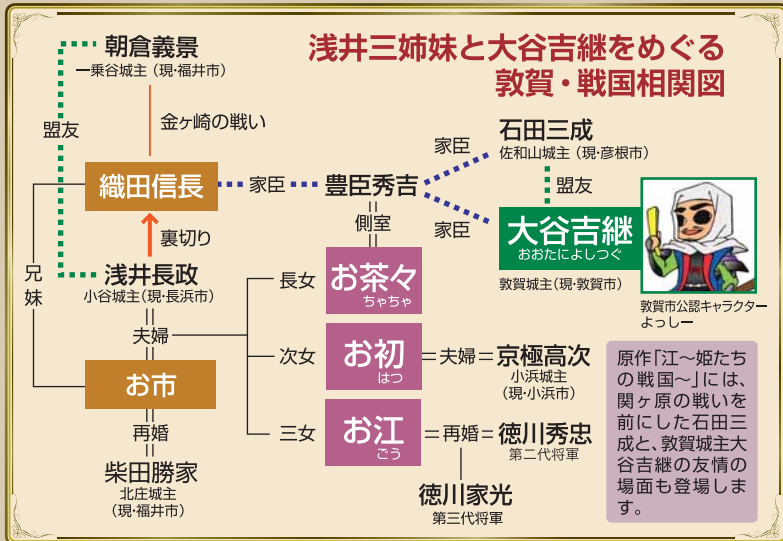
織田信長の妹・お市が浅井長政に嫁ぎ、誕生したのが、お茶々、お初、お江の三姉妹。元龜元年（1570）、信長は越前の朝倉との戦いで、敦賀の西福寺を焼き、天筒山・金ヶ崎城を攻略しました。ところがお市の夫であり三姉妹の父親である浅井長政が、朝倉に味方し形勢は一転。お市はこれを兄の信長に知らせるため、両端を結んだ小豆袋を密かに信長に送ったといわれます。浅井の寝返りを知った信長は、秀吉を殿軍にして金ヶ崎城を脱出し京へ撤退。信長にとつて義弟である浅井の裏切りは、許し難いものでした。そしてこれが三姉妹の数奇な運命の序曲となったのです。

■再び敦賀での戦いが 呼び寄せた岐路

天正元年（1573）、敦賀の刀根坂の戦いと足壇城の戦いの末、朝倉と浅井は滅亡。お市と娘たちは織田勢に保護されました。その後、お市は越前の北庄城主・柴田勝家と再婚。三姉妹は母とともに越前で過ごしました。

天正11年（1583）、勝家は敦賀の玄蕃尾城

浅井三姉妹と大谷吉継をめぐる 敦賀・戦国相関図



敦賀と大谷吉継

に本陣を構え、秀吉と戦い敗北。勝家とお市は北庄城で自刃し、城を逃れた三姉妹は秀吉の元へ。そこからさらに、三人の人生はそれぞれ、ドラマチックに展開していきます。浅井三姉妹の生涯の道程をたぐり寄せると、何度も訪れた敦賀の地が浮かび上がります。

石田三成との友情に命を賭した敦賀城主 豊臣秀吉に才知を認められ、天正17年（1589）、敦賀城主となっ

た大谷吉継。慶長5年（1600）、関ヶ原の戦いで、吉継は勝ち目のない戦いと知りながらも、厚い友情に結ばれた石田三成率いる西軍につきまします。しかし味方の裏切りから大谷軍は全滅。吉継は自害し、その生涯を閉じました。

忠義と友情に殉じた知将として知られる吉継。その才知は、敦賀を治める城主としても発揮されていました。敦賀の町立て（都市整備）や、商業の繁栄にも力を注いだ吉継。その功績は、江戸時代以降の町の発展にも大きく影響しました。

敦賀・戦国 ときめぐり

お市 敦賀城主 大谷吉継 織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 ゆかりの地

常宮神社



朝鮮の役から秀吉軍が持ち帰り、吉継が秀吉の命を奉納したと伝わる「朝鮮鐘」（国宝）が保管されている。拝観可。（常宮13-11）

金ヶ崎城跡



信長、秀吉、家康の天下取りへのターニングポイントとなった地。散策路があり、敦賀湾を一望する眺めも美しい。（金ヶ崎町）

西福寺



良如上人が開いた浄土宗鎮西派の中本山。信長や秀吉、吉継が発給した文書が残っている。書院庭園は国の名勝指定。（原13-7）

みなとろが山東会館



迫力ある吉継の武者人形を載せた山車を間近で見ることが出来る。吉継関連の資料を展示するコーナーも設置。（相生町7-6）【TEL.0770-21-5570】

金崎宮



お市が信長に送ったとされる「小豆袋」のお守りを授与している。「難関突破と恋の宮」として有名。毎年4月には「花換まつり」を開催。（金ヶ崎町1）

真願寺



敦賀城の乾門跡に立てられた寺。境内に、敦賀城に使用されていたと伝わる礎石が残る。（結城町14-1）

八幡神社



吉継が寄進した鳥居や灯籠、欄間などが現存し、拝観できる。併設の郷土博物館には吉継のものと伝わる茶壺も展示。（三島町1丁目3-3）

永賞寺



大谷吉継の菩提寺とされる。吉継の供養塔と伝わる石塔が建てられている。毎年9月15日の命日には顕彰会による供養が行われる。（栄新町11-20）

敦賀観光案内所

TEL.0770-21-8686

URL <http://www.turuga.org/>

問い合わせ